

# 小杉湯原宿 おふろ新聞



## よさこいって なに？

よさこいの起源は、高知県高知市で1954年に始まった「よさこい祭り」。当初は、高知の民謡「よさこい節」をアレンジした「よさこい鳴子踊り」を踊る祭りでした。いろんな人に親しまれるようにと、ルールは2つだけ。そのおかげで今では全国にチームがあり、原宿外苑中学校もそのひとつ。今回は、中学生のよさこいにかける思いを取材してきました！

### よさこい 2つの ルール

- 1 鳴子を鳴らして前進すること
- 2 曲のどこかに『よさこい鳴子踊り』のフレーズが入っていること



## 原宿外苑中学校と スーパーよさこい

スーパーよさこいへの出場が7回目となる原宿外苑中学校（以下、ハラガイ）。昨年度までは地域のよさこい連とともに出場していましたが、今年は学校単体での出場となります。

副校長先生によると、スーパーよさこいへの出場が恒例となる前から、ハラガイでは体育祭の演目としてよさこいを踊っていたそう。1年生から体育の授業で鳴子の鳴らし方や踊りを習い始めるのだとか。また、昼休み等を利用して3年生の有志が主体となり下級生に教える機会をつくり、学校全体で楽しみながら練習に励んでいます。保護者や地域の人と混ざりながらの練習もあり、よさこいを通して生徒たちが地域に溶け込む機会にもなっていました。

## チームハラガイ、今年の見どころ

今年が学校単体での初出場ということで、新しい踊りに挑戦！原宿表参道櫓会、そして様々なよさこいチームの協力のもと出来上がった新曲。本来であれば半年以上の練習期間があるところ、この新曲が決まったのが5月。3ヶ月の練習期間で習得し、さらには3年生有志が振

り付けを考えるパートも。その気合いは下級生にも伝わり、取材時点で23日は144人（2、3年生有志）、2日目は88人（1年生有志が中心）の参加が決定。特に2日目は例年30-40人ほどとのことで、生徒たちの熱を感じられます。



ハラガイの衣装は「蝶」がモチーフ！オレンジとネイビーの衣装を目印に、見かけたらぜひ応援してくださいね。

## 蝶

授業だけでなく、有志でも「よさこい」にかける。  
中学生が感じる「よさこいの魅力」ってなんだろう？

原宿外苑中学校  
3年生

楓華さん

“ 私たち原宿外苑中(通称:ハラカド)の3年生は、4月の修学旅行で「よさこいの本場の地」である高知県でよさこいを踊りました。大橋通りという商店街に高知の人に見守られながら踊ったよさこいは、今までで一番楽しかったです。高知の人と提灯と鳴子を交換したり、お互いの地域について話したりして、仲良くなることができました。よさこいは、踊っている自分を見に来てくれているお客さんを元気にすることができると思っています。そのためスーパーよさこいでは、見に来てくれている目の前のお客さんを楽しませられるように、笑顔で楽しく踊りたいです。”

代筆小杉湯原宿スタッフ:

ゆか

原宿外苑中学校  
3年生

ゆりこさん

“ よさこいの好きなのは、みんなと一緒に、踊るところです。踊る音が重なる、きこえる音を聞いているとみんなの心が一つになっているように感じます。もうひとつは、全カにたけるところです！最初は暑い中めんどくさいなと思っていても踊ると、いつの間にか夢中になって、暑さも吹飛びます。今年は最高学年として伝統を引き継いでいくことになるので昨年よりさらにパワーアップできるようにしたいです。また、2年生を引っ張り、よさこいの楽しさを伝えたいと思います。みんなに元気を届けられるような祭りにします！本番暑いのでも水分補給はしっかり、みんなが最高のパフォーマンスをして会場を盛り上げます！”

代筆小杉湯原宿スタッフ:

ほんた

原宿外苑中学校  
3年生

琉太さん

“ 原宿外苑中学校のよさこいへのこだわりは、生徒が考えた振付があることです。3年生が今まで踊ってきた様々なよさこいの振り付けを合わせることで、よって様々な地域のよさこいを目で見ることができ、そして、よさこいの練習の時間では実際にスーパーよさこいに出場している先生が教えてくださっています。声を出す場面や動きを完全に止めるなどの「緩急」という部分を一生懸命練習しました。僕は今回のよさこいで最後になるんですけど、今まで色々な人に習った振付を使い、精一杯声を出して頑張りたいです！”

代筆小杉湯原宿スタッフ:

敷野

原宿外苑中学校  
3年生

詠一朗さん

“ 僕たちは今年の5月から今まで踊ってきたよさこいとは違う新しい踊りの振り付けを練習しました。今までと比べて、格段にリズムや振りも難しい踊りでした。しかしみんな一生懸命練習し、外部からのコーチにも指導をいただいたおかげで大半の生徒が自信を持って踊れるようになりました。にぎやかな踊りが生徒が自分たちで考えた振り付けにも注目してください。中学校最後のよさこいを楽しみ、盛り上げられるように頑張ります。”

代筆小杉湯原宿スタッフ:

宇井